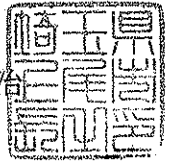


上 政 第 30 号
平成19年4月24日

国土交通省道路局長 殿

上尾市長 新井 弘 治



中期的な計画作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のあった件につきまして、別紙のとおり回答いたしますので、よろしく願いいたします。

担 当：上尾市企画財政部総合政策課
小幡、藤波

電 話：048-775-3963（直通）

FAX：048-776-8873

上尾市の意見

本市の道路政策は、「主要幹線道路」、「幹線道路」、「補助幹線道路」及び「生活道路」と役割分担された道路網体系により、安心して安全な交通環境を整備していくよう考えられております。

このうち、優先度の高い本市の道路政策としては、「上尾道路（上尾バイパス）」、「第二産業道路」の整備があげられます。これらの道路整備により、南北方向の広域交通が集中している国道17号の交通渋滞を解消し、首都圏から北関東までの連携を強化することが可能となります。現在、関係機関との調整を図りながら整備が進められているところです。

また、東西方向に位置する周辺都市との連携を強化するための広域的道路である「県道上尾久喜線」についても、本市にとっては優先度の高い道路であります。今後、幅員の拡幅や国道17号との立体化等の整備促進を図りつつ、上尾道路まで接続させる都市計画の見直しをすることで、東西連携の更なる強化が図れるよう関係機関と調整が進められているところです。

さらに、JR上尾駅周辺での慢性的な渋滞解消策として、(仮称)仲町谷津線の都市計画決定と早期の事業着手についても、優先度の高い道路政策となっております。JR上尾駅周辺での東西通行については、JR高崎線や中山道との平面交差による慢性的な交通渋滞が、本市の長年の懸案事項とされており、これを解消するための道路計画として、軌道敷を立体交差により横断する(仮称)仲町谷津線の都市計画決定と早期の事業着手に向けた取組みが、現在進められているところです。

また、広域的な幹線道路だけでなく、地域の交通利便性の向上と生活道路への通過交通の抑制を考慮した道路整備についても必要性は高く、現在施行されている土地区画整理事業区域内等では、事業に併せた地域間を結ぶ道路整備が進められているところでもあります。

本市の道路政策の効率的な運用については、平成4年3月に「上尾市都市計画道路網構想」が策定されていますが、市街地拡大の収束傾向や経済の低成長化などの社会情勢の変化により、適宜見直しを図る必要があります。

即ち、最新の交通実態調査や近隣市町との広域道路ネットワーク等も考慮した中で、道路体系を再検証し、市民にとって必要となる道路体系を構築する取組みを行わなければなりません。

この構想に基づき、例えば長期間未整備になっている都市計画道路の廃止や見直しを図ることで、効率的で効果的な道路政策を推し進めていく必要があります。

最後に、道路整備については、円滑な交通環境の観点からだけでなく、延焼の遮断や災害時の避難路の確保及びライフラインの強化等、防災上の観点からも、市民にとっては必要不可欠なものであります。引き続き、道路整備に必要な安定的な財源確保が図られるよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。